

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月25日			記入者	
部 名	選挙管理委員会事務局	課 名		内 線	5312
事務事業名	選挙啓発事業				
予算上の事務事業名	選挙啓発経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード				
基本目標					
政策名					
基本施策名	事業開始年度				
施策名	▼				
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
公職選挙法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
民主政治の基盤である選挙が公明且つ適正に行われるように、明るい選挙推進運動を企画及び実施し、あらゆる機会を通じて、市民一人一人が政治や選挙に強い関心を持ち、主権者としての自覚と豊かな政治常識、高い選挙道義を身につけることを目的とする。				市民	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
国会議事堂等施設見学会【1回 参加者 62人】 明るい選挙啓発ポスターコンクール【応募者 87人】 新成人へのパスデーカード送付【送付数 7,184通】 中学校生徒会選挙への選挙物品貸出【9校】 明るい選挙推進協議会補助事業 ・明るい選挙推進大会の開催【部会2回/大会1回 参加者 129人】 ・白バラだより編集発行部会の開催【部会3回/発行回数1回/発行部数 19,000部(自治会回覧)】 ・白バラ講座部会の開催【部会3回/講座1回 参加者 58人】 ・街頭啓発活動【20回 動員数 164人】					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他の自治体においても、同様の目的で選挙啓発事業を実施している。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	1,680	1,488	1,268	1,066	1,228
一般財源	1,680	1,488	1,268	1,066	1,228
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	2,517	2,403	2,421	2,421	2,421
事業コスト合計(a)	4,197	3,891	3,689	3,487	3,649
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	明るい選挙推進協議会補助事業			対象名称(単位)	啓発事業実施数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	540	520	500	500	662
対象数	23	26	23	25	26
単位あたり経費(円)	23,478	20,000	21,739	20,000	25,462
前年度比		0.85	1.09	0.92	1.27

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	実施回数（回）	指標式と指標の説明		白バラだより発行、推進大会、白バラ講座、街頭啓発、国会等見学会及び生徒会選挙物品貸出の回数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	30.0	34.0	33.0		
目標	33.0	34.0	34.0	36.0	38.0
目標達成度	0.91	1.00	0.97		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	参加者数（人）	指標式と指標の説明		推進大会、白バラ講座、国会等施設見学会の参加者数及びポスターコンクールへの応募者数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	603.0	749.0	341.0		
目標	570.0	600.0	470.0	470.0	570.0
目標達成度	105.8	124.8	72.6		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		本事業の目的に対する、個別事業の実施方法や実施体制の見直しを図るとともに、明るい選挙推進協議会との協働について更に研究し、より事業を拡充・充実させていきたい。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
各事業の内容について、明るい選挙推進協議会と協議し、既存事業の実施内容及び方法を再検討するとともに、より効果的な新規事業を研究する。			本事業は、本来行政が行うべき事業であるため、協議会に補助金を交付するのではなく、委託金を支出すべき性格のものとする。 また、三位一体の改革により、国及び県からの協議会への委託金等が大幅に削減されたため、新たな財源の確保が必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		事業内容の「委託化」「事業そのものの中身の精査」について検討することにより、選挙啓発事業そのものを拡充・充実させる「見直し」を進めるべきである。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			